

「将来に繋がる経験」

専修大学

出澤杏佳

この度は、ヴロツワフ国際大学卓球大会に出場させていただき、ポーランド卓球協会の関係者の皆様はじめ日本チームの皆様には感し1週間の遠征を通して、卓球競技の成長だけでなく国際交流の面からも人間力を成長させることができた自分なりに感じています。

大会の結果は、女子団体で優勝、女子シングルスでベスト8でした。団体戦の準決勝で試合をしたポーランドの選手はボールの回転量やパワーがとてもあり、また国際大会に慣れていると感じ、戦術面や試合の挑み方など学ぶことが多かったです。女子シングルスでは日本人選手に負けてしまいましたが、課題が見つかったので母体でしっかり改善していきたいと思います。ポーランドやウクライナをはじめ日中韓など様々な国の選手と試合をさせていただき、普段日本では受けることができないようなボールを受けることができ、非常に良い経験ができたと感じています。

国際交流面では、6月に行われた日韓交流の時に親しくなった韓国の友人達と再会し、さらに交流を深めることができました。ポーランドの選手とも少しですが話すことができ良かったです。観光では、ヴロツワフ市街とクシオンシュ城にいきました。ヨーロッパに行ったのは4年ぶりであり、素晴らしい街並みと歴史を感じるができる城を見学でき、知識も深まったのではないかと感じます。私自身、世界史や各国の街並みを拝見することが好きなので、今回は卓球面だけでなく、学びの面についても非常に良い経験ができました。

この遠征で培った経験や日本チームの皆さんとの関わりは今後の人生を豊かにしてくれるものだと感じます。この遠征に関わってくださった全ての皆様に感謝の気持ちをより一層持って日々精進して参ります。